



学校だより 5月号

令和7年4月30日発行

ふるさとに学び ふるさとで遊び ふるさとを愛する子 ～ふれあいがやき豊かな心～

それぞれのあいさつ

校長 杉山 波也



ピンク色だった桜の木は緑色に染まり、目に鮮やかに映ります。外に出ると、さわやかな日差しと春風が心地よく感じ、また子どもたちが楽しそうに活動しているので、いつもより長く眺めてしまいます。

朝、校門で子どもたちが登校してくるのを待っていると、遠くから「おはようございます。」と大きな声がよく聞こえてきます。私の姿が見えた瞬間にあいさつをしてくれる子がいるのです。私も嬉しくなって、手を振りながら「おはようございます。」とあいさつを返しています。昨年度から、自分からあいさつをしてくれる子が増えてきて、今年度になっても増え続けています。「笑顔であいさつ」「手をあげながらあいさつ」「ぺこりと頭を下げながらあいさつ」「友だちと声を揃えてあいさつ」「私に気づかれないところからのあいさつ」等、子どもそれぞれのあいさつがあってとても楽しいです。私が保護者の方と話していてもあいさつしてくれる子もいて、その時は話をいったんやめて「おはよう。」と返したり、手をあげて「聞こえているよ、ありがとう。」の気持ちを伝えたりしています。地域の方から、「鴨志田緑小の子どもたちからあいさつしてくれるのでとても嬉しいです。」と言っていただけることも多々あります。引き続き子どもたちのあいさつで、学校だけでなく、みんなが住むまちを明るく、元気にしていってほしいなと思います。

この4月に本校に仲間入りした1年生。入学式では、緊張した面持ちで話を聞いていた姿が印象的でしたが、あの日から約1か月が経ち、担任や友だちと様々な活動を通して、学校生活に少しずつ慣れてきたように感じます。初めての登下校、初めての授業、初めての給食等々、戸惑うことも多かったと思いますが、人の話をしっかりと聞き、一つ一つの活動に熱心に取り組み、様々なことをスポンジのように吸収し、身につけている様子がたくさん見られます。一日一日を重ね、わかったり、できたりしたときの表情を見ていると、少しずつ成長していることを感じ、私たちも嬉しくなります。また、一つ上の学年に進級した2年生から6年生も、自分なりの目標を掲げ、新しい気持ちで学校生活を過ごしています。自分たちで楽しい学校をつくってこうと活動している場面が多く見られます。すてきな姿です。これから、子どもたちが安心して様々なことに取り組むことができるよう、頑張る姿を見守り応援していきます。これからも、保護者の皆様、地域の皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

